

自分の遺伝子を 相談相手にする。

この方針が当たり前になった未来を想像してみませんか？
それは、がん細胞の遺伝子変異を特定でき、そのゲノム情報を元に自分だけに個別化した治療を受けられる未来。「がん細胞のどの遺伝子に異常があるかが分かれば、よりの確な薬を投与できるのではないか」という仮説のもと、がんゲノム研究が日々進歩しているのです。藤田医科大学は、がんと闘うすべての人に対して、治療の最適化・予後予測・発病予防できる社会を目指しています。そして、ゲノムに関するデータを集積することがまた、今後の新しい治療法や抗がん剤の開発につながると信じています。

その研究は、
未来を始めている。

救える力を、創りだす。
 藤田医科大学



藤田医科大学

がん医療研究センター

